

1 平成 19 年度調査の全体計画(案)

1.1 調査の目的

漂流・漂着ゴミ問題については、国内起因のみならず、地域によっては外国からのゴミが大量に漂着しており、海洋環境の保全の面からの問題（たとえば良好な海浜景観の喪失、海洋生物等への影響の懸念等の問題）が指摘されている。

漂流・漂着ゴミについて、より効果的な発生源対策や清掃運搬処理を進めるためには、漂着の状況と地域の特性をふまえた取組が必要である。また、効率的な清掃方法の開発利用や関係者の参加・協力が重要である。このため、下図に示す一定範囲のモデル海岸地域について、地域全体の漂着ゴミの状況や地域特性について情報を収集し、対策のあり方を検討する。また、環境保全上の価値が高い海浜等について、効果的な清掃運搬処理の手法を検討し、漂流・漂着ゴミ対策に資することを目的とする。

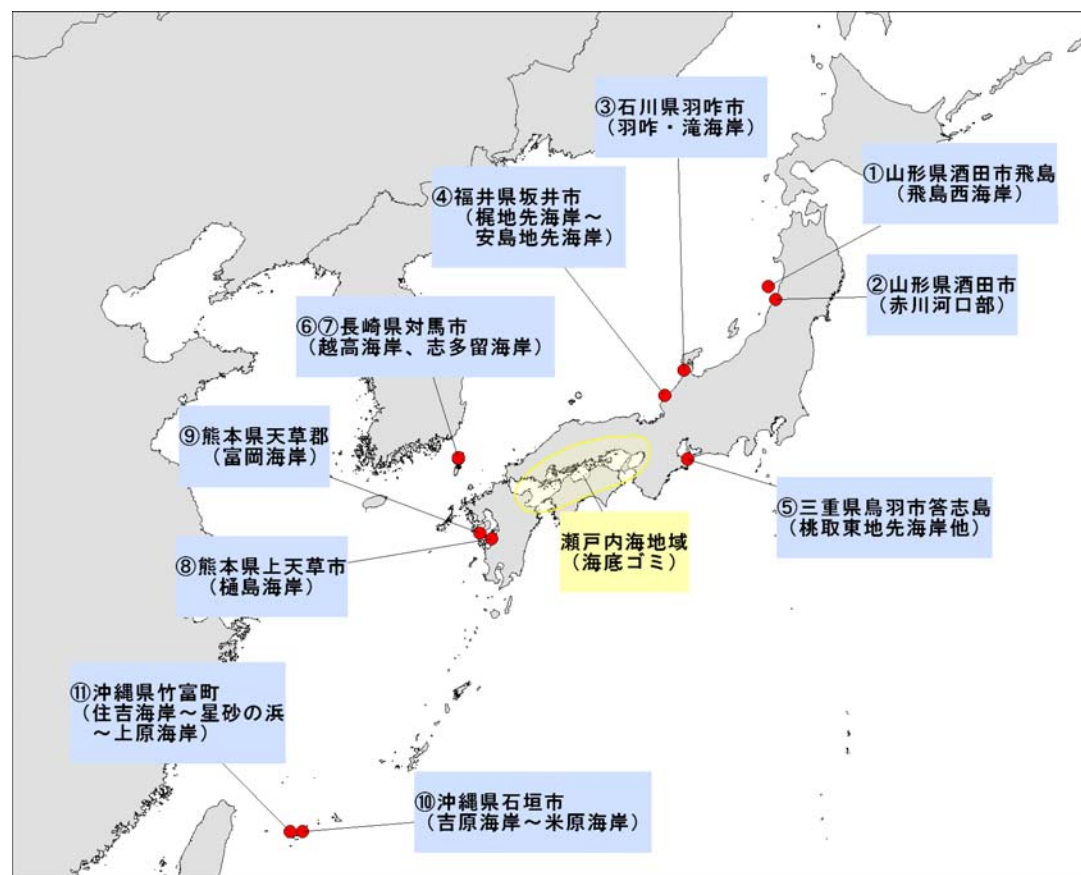


図 1 モデル地域

1.2 調査内容

本調査は、以下の 6 項目の調査から構成されている。

- 概況調査
- クリーンアップ調査
- フォローアップ調査
- その他の調査
- 検討会の実施
- 瀬戸内海地域で実施する調査

漂流・漂着ゴミの削減方策に資するため検討すべき項目として、「現状把握」、「発生抑制」、「除去」、「漂着防止」に対する各調査項目の役割を示すと、図 2 のようになる。

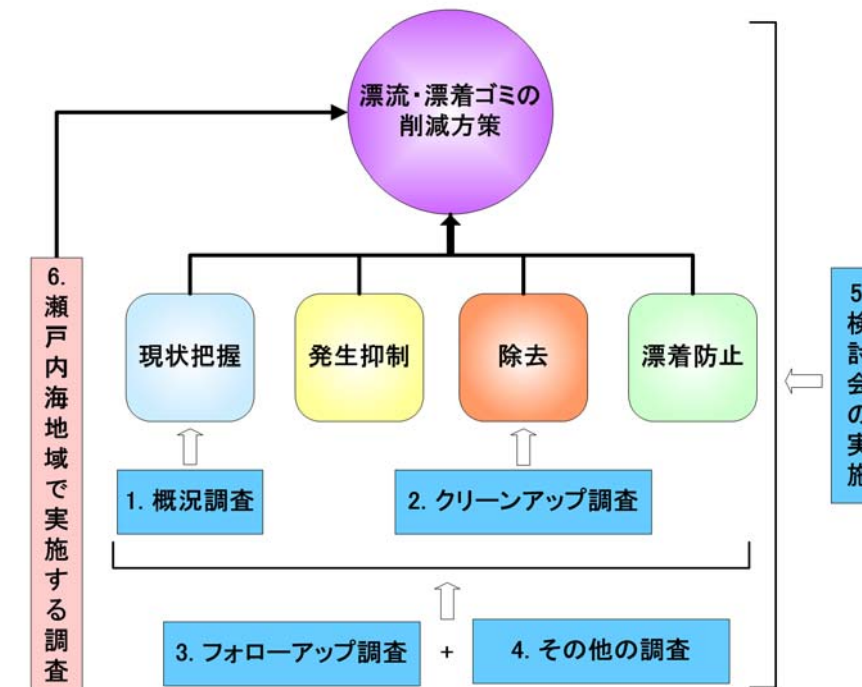


図 2 漂流・漂着ゴミ削減方策に資するための各調査項目の役割

1.3 地域検討会の内容

1.3.1 地域検討会の目的

各モデル地域で実施する調査について、地域の状況や要望を踏まえて適切に実施し、調査結果等を速やかに地域にフィードバックするため、地域の担当者や地域住民等による地域検討会を組織する。議論を通じて地域関係者との連携を深め、効果的な調査の実施と継続的な漂流・漂着ゴミ削減対策の確立の基盤を形成することを目的とする。

1.3.2 調査工程

平成19年度	H19年7月	8月	9月	10月	11月	12月	H20年1月	2月	3月
概況調査									
クリーンアップ調査				—	—				—
フォローアップ調査				—	—				—
その他の調査									
総括検討会		第1回		第2回					第3回
地域検討会			第1回			第2回			第3回

平成20年度	H20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H21年1～3月
クリーンアップ調査	—		—	—						
フォローアップ調査	—		—	—						
その他の調査										
総括検討会		第4回			第5回				第6回	
地域検討会		第4回				第5回			第6回	